

第 20 回 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議
議事要旨

開催日時：平成 29 年 7 月 28 日（金）15：00～17：00

開催場所：宇都宮国道事務所 2F 会議室

出席者：早稲田大学 理工学術院 創造理工学部

社会環境工学科 教授 森本章倫（委員長）

（公社）栃木県観光物産協会 会長

新井 俊一（欠席）

栃木県地区交通安全協会女性部連合会 会長

五十嵐清江

（株）下野新聞社編集局地域報道部 宇都宮総局長

岩村 由起乃

（一社）栃木県商工会議所連合会 会長

北村 光弘（代理出席）

（一社）栃木県トラック協会 会長

吉高神 健司

（一社）栃木県安全運転管理者協議会 会長

相良 芳隆（欠席）

栃木県教育委員会 委員

陣内 雄次

（一社）栃木県バス協会 会長

手塚 基文（代理出席）

NPO 法人 eーとちぎ 代表理事

藤平 昌寿

栃木県警察本部 交通企画課長

池田 正

交通規制課長

佐藤 雅人（代理出席）

東日本高速道路（株）関東支社宇都宮管理事務所 事務所長

村松 栄嗣

栃木県 県土整備部 交通政策課長

益子 崇

道路整備課長

柴 誠（代理出席）

道路保全課長

竹中 弘幸

都市計画課長

内田 浩二（代理出席）

都市整備課長

藤田 邦夫

関東運輸局 栃木運輸支局 支局長

小堤 健司（代理出席）

国土交通省宇都宮国道事務所 事務所長

上原 重賢

議事

（１）渋滞対策

- ・ 渋滞対策の進捗状況確認
- ・ 渋滞対策箇所の効果確認
- ・ 検討優先箇所の検討状況
- ・ 最新の交通状況による分析
- ・ 主要渋滞箇所の見直し
- ・ ピンポイント渋滞対策の検討状況
- ・ 道路利用者会議等からの道路整備に関する要望箇所の検討状況

- ・賢く使う対策の実施状況
- (2) 事故対策（交通安全関係）
 - ・事故危険区間の対策後の評価について
 - ・事故危険区間の中間評価について
 - ・生活道路の事故対策について
- (3) その他
 - ・道路行政をめぐる最近の状況報告

【議事要旨】

- (1) 渋滞対策関連
 - ・今までは全方向の渋滞対策を議論してきたが、今後、1方向は渋滞が残っていても主道路が20km/h以上であれば、主要渋滞箇所から解除し、関連する交差点の渋滞対策を検討する。
 - ・主道路方向の速度低下が解消された交差点において、従道路側が渋滞しているため解除できない。今後、渋滞の原因を分析する。
 - ・交通渋滞による経済的な損失や県民への負担がどれぐらい発生しているのか分かりやすく示すとともに、災害のリスクが高い道路について、道路整備の必要性を理解して頂くことも必要である。
- (2) 事故対策（交通安全関係）
 - ・65箇所の事故代表区間のうち、対策済が41箇所、対策中が9箇所、検討中が15箇所である。
 - ・栃木県内全体の事故データを分析した上で総合的な視点で対策を検討することが必要となる。事故件数の量の議論ではなく、これからは質の議論も合わせて行い、きめ細かい対策を実施していくことも考えられる。
- (3) 道路行政をめぐる最近の状況報告
 - ・主な意見、質疑はなし。
- (4) 今後のスケジュールについて
 - ・第21回の委員会は、引き続き開催する予定であるが、開催時期は未定である。

【その他ご意見等】

- ・バイパス整備や交差点改良などのハード整備は、国土交通省を初めとした各種機関が対応しているが、県民が協力できることは何か、ハードとソフト対策をもっと戦略的に整理してはどうか。

- ・ 南北軸の交通量について、過去 10 年間の推移や将来の値などデータが整理されていれば教えて頂きたい。
- ・ 黄色信号になると逆に加速する車両があるなど、県民のマナーの問題もある。そのため、小学校の教育の場に入って啓蒙活動を行うことも考えられる。